

区民移動実態把握に関するアンケート調査結果（速報）について

区の公共交通サービスのあり方を検討するため、区民移動実態の把握に関するアンケート調査を行ったので、その結果概要について報告する。

1. アンケート調査の概要

- (1) 調査地域 中野区全域
- (2) 調査対象 住民情報システムに基づき無作為に抽出した 18 歳以上の区民 3,000 人
- (3) 調査目的 区民の日常の移動実態や移動ニーズを把握するため
- (4) 調査期間 平成 30 年 8 月 21 日（火）～9 月 5 日（水）
- (5) 調査方法 郵送によるアンケート調査票の送付と回収
- (6) 回収率 40.1%（1,202 人）

2. アンケート調査結果の概要（別紙資料を参照）

- (1) 回答者の属性（図 2-1 参照）

18 歳～64 歳までが 67%、65 歳以上の高齢者が 33%を占める。属性は「会社員・公務員」（通勤者）が最も多く 48%であった。
- (2) 区民の日常の移動実態（図 3-1 参照）
 - ・主な外出目的は「通勤・通学」が 53%、次に「買物」が 28%を占める。目的地は「新宿区」が 16.1%、「中野駅周辺」が 11.7%を占める。
 - ・区内区外の移動割合では、18 歳～64 歳の生産年齢人口の 72%が区外移動である。一方、65 歳以上の高齢者は区内移動が多く 50%を占める。
 - ・利用交通手段は、「鉄道」が最も多く 43.9%を占め、次いで「徒歩のみ」「自転車」「路線バス」「地下鉄」の順である。
- (3) 区内の交通手段の満足度（図 4-1、図 4-2 参照）

回答者の約 66%が現在の交通手段に満足しており、一方、不満と回答した人は約 14%存在し、「大和町」「若宮」「江原町」の順に不満と答えた人が多い。これらの地域は、鉄道駅・バス停からの距離が半径 250m の範囲を外れる地域が広い傾向がある（以下「公共交通不便地域」という。）。
ただし、今回の分析では路線バスの走行頻度は考慮にいていない。
- (4) 鷺宮圏域に絞った移動実態及びニーズ調査

他の地区に比べ公共交通不便地域の面積割合が大きく、かつアンケートでも不満が多い鷺宮圏域（上鷺宮、鷺宮、白鷺、若宮、大和町）のエリアに絞り込み、アンケート集計を行った。

 - ① 外出目的と交通手段（図 5-1、図 5-2 参照）
 - ・日常の移動実態で外出目的は「通勤・通学」が 48.3%、次に「買物」が

30. 1%と区全体の調査結果とあまり変わらない。

- ・利用交通手段は、「鉄道」が最も多く58.1%であり、区全体の調査結果よりも14.2ポイント上回る。「路線バス」は27.7%で区全体の調査結果より2.9ポイント下回る。

② 路線バスへの不満理由と移動ニーズ（図5-3、図5-4、図5-5参照）

- ・路線バスを利用しない主な理由は、「目的地の近くまで行くバス路線がない」、「バスの本数が少ない」、「最寄りのバス停まで遠い」などである。
- ・不満と答えた人が希望するバスの行先は「中野駅」が最も多く、次いでJR中央線の高円寺駅、新宿駅方面への要望が高い。
- ・65歳以上の高齢者の移動時間帯は、朝が9時～10時台、夕方は15時～16時台で移動割合が高く、日中の時間帯に集中している。

3. 本調査結果から想定できる公共交通に関する課題

アンケート調査結果からは、交通利便性に関し不満が多い地域は、順に大和町、若宮、江原町、江古田、鷺宮地域が約20%台である。これら地域は、自宅から交通機関の最寄りの駅やバス停まで250m以上離れている区域が広い鷺宮圏域に広がっている。

鷺宮圏域では、大和町や若宮などの狭い道路が入り組んだ木造住宅密集地域や上鷺宮地域の土地区画整理事業を施行すべき区域など、道路等のインフラ整備に課題があり、路線バス等の利便性に課題がみられ、地域からもコミュニティバス等の要望が出ている。

一方、上高田、江原町、江古田地域のように交通不便地域と不満足度の相関性が見られない地区もある。これらを含め更なる分析が必要と考える。

4. 今後の予定

本調査結果を踏まえ、平成31年度は区民の移動環境改善に向け、交通不便地域における移動に関する更なるニーズ調査の把握や分析を行うとともに、バス事業者や区内運輸業者等との連携を含め、具体的対応策について更なる調査・検討を進めていく。

区民移動実態把握に関するアンケート調査結果（速報）

1. 調査概要

(1) 調査目的

公共交通サービスの在り方を検討するため、区民移動実態の把握に関するアンケート調査を実施した。

(2) 配布・回収状況

区民 18 歳以上を対象に、無作為に抽出した 3,000 人に配布し、1,202 人（回収率 40.1%）を回収した。町丁別回収率も約 40%前後となっており、回収数に地域差は見られない。

表 1-1 調査概要

内容	
調査時期	平成 30 年 8 月 21 日 ～平成 30 年 9 月 5 日
調査対象	中野区全域 18 歳以上
調査方法	・3,000 人を無作為抽出 ・郵送配布・郵送回収

表 1-2 配布・回収状況

町丁	人口	配布数	回収数	回収率	人口比
1 南台	20,216	264	112	42.4%	0.6%
2 弥生町	22,847	154	68	44.2%	0.3%
3 本町	29,231	197	72	36.5%	0.2%
4 中央	29,235	195	70	35.9%	0.2%
5 東中野	23,538	159	62	39.0%	0.3%
6 中野	27,258	184	88	47.8%	0.3%
7 上高田	20,990	246	93	37.8%	0.4%
8 新井	18,208	123	55	44.7%	0.3%
9 沼袋	13,831	93	41	44.1%	0.3%
10 松が丘	6,523	72	31	43.1%	0.5%
11 江原町	9,271	117	45	38.5%	0.5%
12 江古田	12,119	135	56	41.5%	0.5%
13 丸山	5,003	64	22	34.4%	0.4%
14 野方	21,467	145	54	37.2%	0.3%
15 大和町	15,713	204	72	35.3%	0.5%
16 若宮	12,779	153	56	36.6%	0.4%
17 白鷺	11,784	135	56	41.5%	0.5%
18 鷺宮	16,690	192	78	40.6%	0.5%
19 上鷺宮	14,138	168	67	39.9%	0.5%
20 不明(無効票)	-	-	4	-	-
回収数	330,841	3,000	1,202	40.1%	0.4%
有効回収数	-	-	1,198	-	-

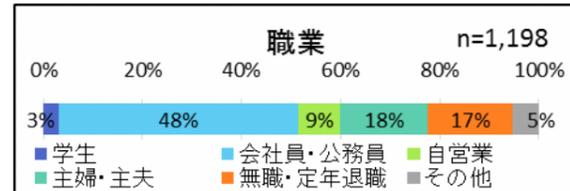
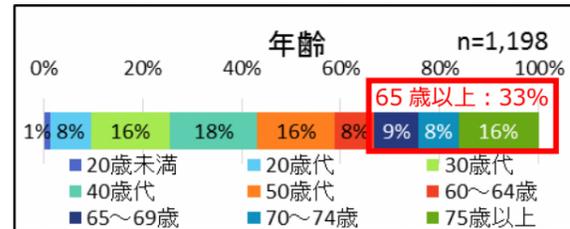
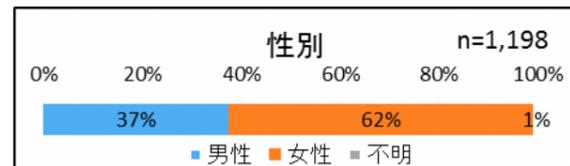
2. 回答者の属性（性別・年齢・職業）

性別は、62%を「女性」が占める。

年齢は、全年齢層から回答を得ており、65 歳以上の高齢者は、33%である。

職業は、「会社員・公務員」が最も多く 48%、次に「主婦・主夫」が 18%、「無職・定年退職」が 17%である。

図 2-1 性別・年齢・職業



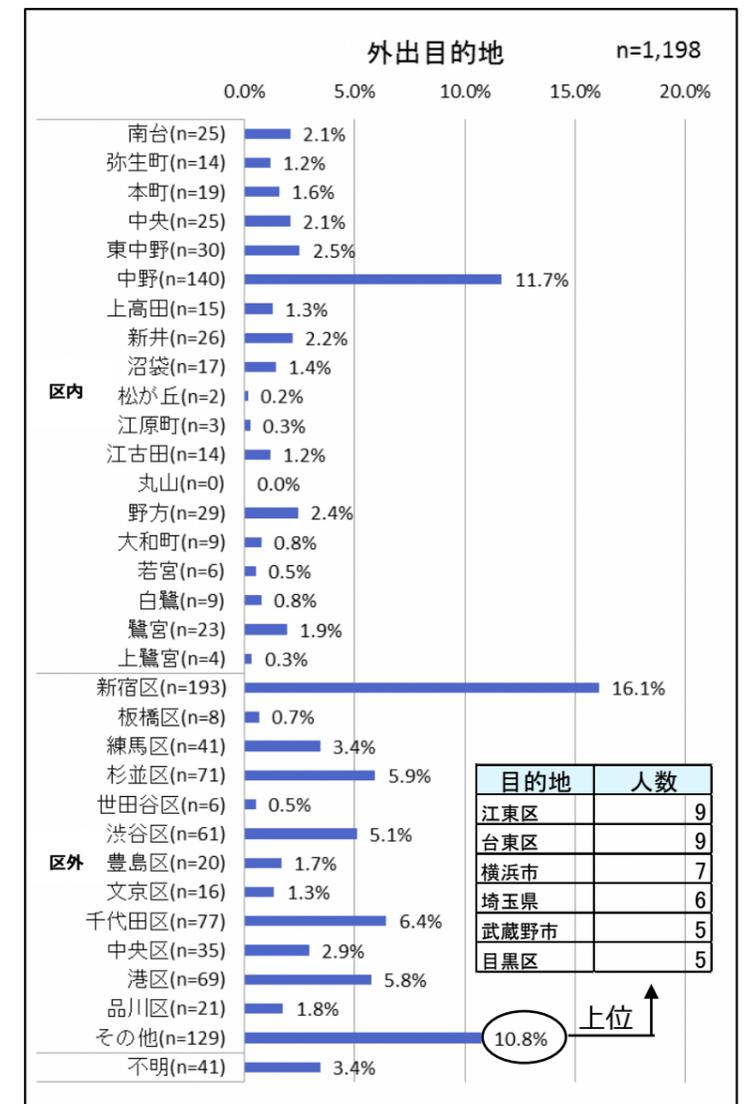
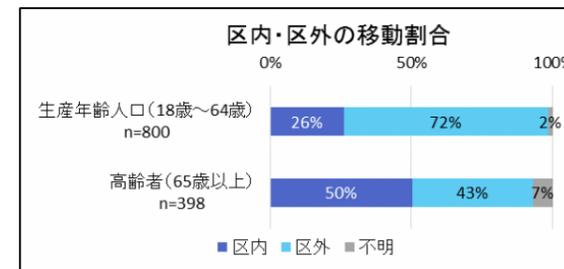
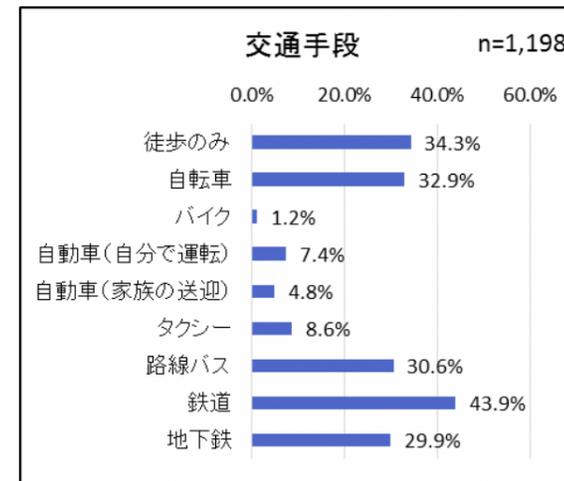
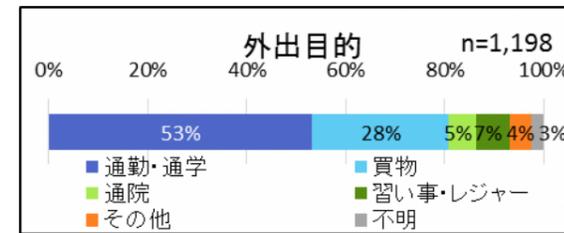
3. 区民の日常の移動実態（外出目的・外出目的地・交通手段）

会社員・公務員が約半数を占めていることもあり、日常の外出目的は「通勤・通学」が 53%、次に「買物」が 28%を占める。

行き先の外出目的地は、「新宿区」が 16.1%、次に「中野駅周辺」が 11.7%を占める。区内・区外の移動割合を年齢構成で見ると、生産年齢人口（18 歳～64 歳）の 72%は区外に移動している。一方、高齢者（65 歳以上）は、区内の移動が 50%を占め、区内移動の割合が高い。

交通手段は、「鉄道」が最も多く 43.9%を占め、「徒歩のみ」「自転車」「路線バス」「地下鉄」は約 30%を占めており、さまざまな交通手段により、移動していると考えられる。

図 3-1 外出目的・交通手段・外出目的地



区民移動実態把握に関するアンケート調査結果（速報）

4. 交通手段の満足度と公共交通不便地域

満足が約 66%と満足度は高い一方で不満が 14%存在しており、「大和町」「若宮」「江原町」の順に不満が高い。鉄道駅・バス停から半径 250m の範囲から外れる公共交通不便地域は、鷺宮圏域に集中しており、特に「大和町」「若宮」は木造住宅密集地域で狭い道路が多く、路線バス等が通りにくい。

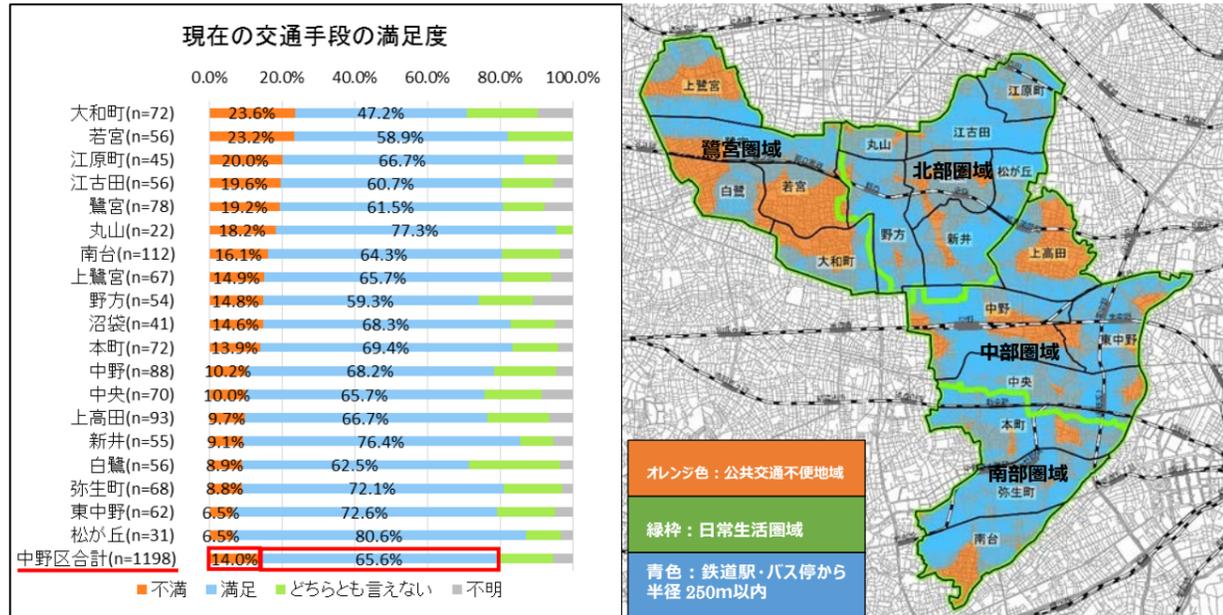


図 4-1 現在の交通手段の満足度

図 4-2 公共交通不便地域

5. 公共交通不便地域（鷺宮圏域）の日常の移動実態と移動ニーズ

鷺宮圏域（上鷺宮、鷺宮、白鷺、若宮、大和町）について、アンケートを集計した。

(1) 外出目的と交通手段

「通勤・通学」が 48.3%、次に「買物」が 30.1%を占める。これらの外出目的の交通手段は「鉄道」が最も多く 58.1%を占め、次に「自転車」が 36.8%、「徒歩のみ」が 31.3%の順である。また、「路線バス」は、27.7%である。

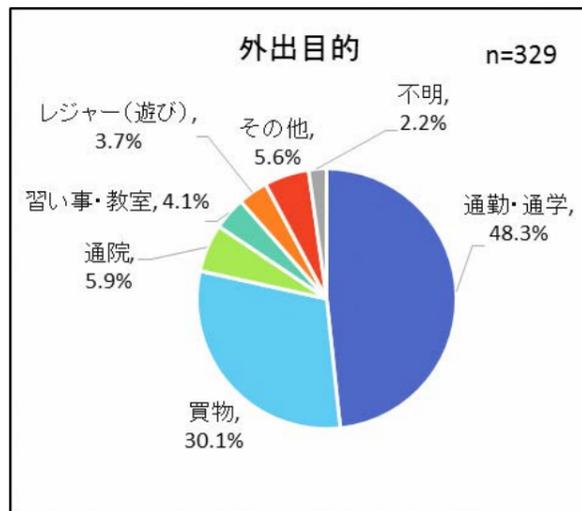


図 5-1 外出目的

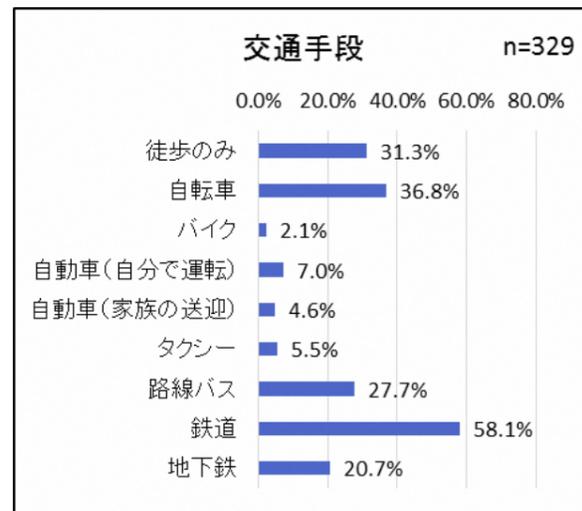


図 5-2 交通手段

(2) 路線バスへの不満理由と移動ニーズ

「目的地の近くまで行くバス路線がない」の不満が 38%を占め最も高い。また、不満の方の移動ニーズは、「中野駅」が 32 人と最も多く、JR 中央線の高円寺駅、新宿駅方面への移動ニーズが高い。

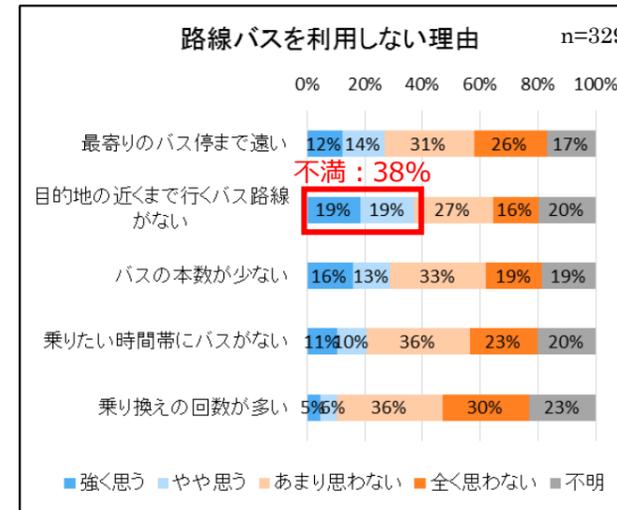


図 5-3 路線バスを利用しない理由

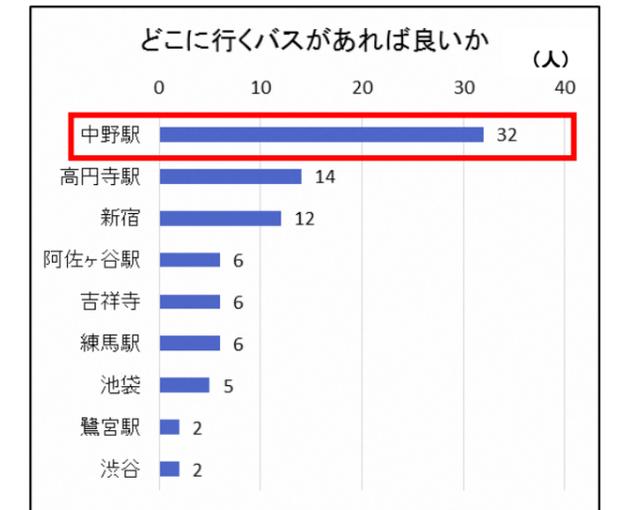


図 5-4 どこに行くバスがあれば良いか（移動ニーズ）

(3) 移動時間帯

全体で見ると、朝は 7 時～8 時台、夜は 17 時～19 時台で移動割合が高い。高齢者（65 歳以上）で見ると、朝は 9 時～10 時台、夕方は 15 時～16 時台で移動割合が高く、日中の時間帯に集中している。

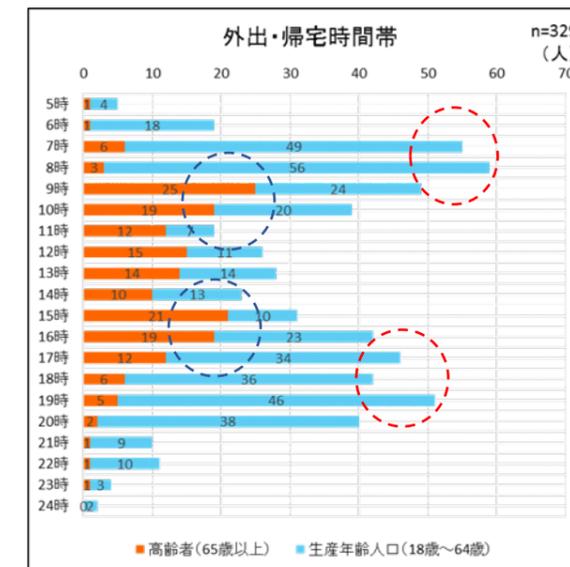


図 5-5 外出・帰宅時間帯

6. 本調査から見てきた傾向

アンケート調査結果から、現在の交通手段について、区全体として満足度は高い。公共交通不便地域（鷺宮圏域）においては不満の割合が高い傾向があり、行先としては中野駅への移動ニーズが高い。

今後は、公共交通不便地域の移動環境の改善に向けて検討する必要がある。